

田園調布中だより

発行日 令和6年6月18日
令和6年度 第3号(6月号)
大田区立田園調布中学校
校長 田谷 至克

子どもたち一人一人が輝きました！

校長 田谷 至克

<令和6年度 第73回 運動会>

6月1日(土)、生徒が作成したスローガン「大爆発(ビッグバン) 進め我がが主役(エース)」のもと、運動会を開催しました。雨で思うように練習や準備ができませんでしたが、子どもたちは集中を切らすことなく全力を尽くしてくれました。一人一人が自分の役割をしっかりと理解し、実行委員や各係においても、そして、各学年学級の演技の中でも、主体的にテキパキと動いていた姿は見事でした。

結果、各学年の優勝クラスは、1A 2B 3A でした。おめでとうございます。

校長の講評では、

- 1年生には、「全員リレー」でのバトンのつなぎ →「絆」
- 2年生には、「蛇の皮むき」(学年種目)での仲間への信頼 →「信」
- 3年生には、学級の壁を越えてお互いをたたえあっていた姿 →「和」

を今後の学校生活でも大切にするよう伝えました。

勝ち負けはつきましたが、「勝っておごらず、負けて卑屈にならず」と締めくくりました。

また、ポスターの部では、3年生の生徒に最優秀賞を贈りました。

ご来賓の皆様をはじめ、地域、保護者の方々におかれましては、ご多用の中、子どもたちのためにあたたかいご声援を賜り、誠にありがとうございました。また、PTA活動として運営のお手伝いも引き受けていただきましたこと、心より感謝申し上げます。



ポスター
～最優秀賞～



1年「多摩川の渡し」



2年「蛇の皮むき」



3年「ローハイド」

===お詫びと訂正について===

○最終的にアナウンスした1年A組の得点に誤りがありました。

<訂正前> 1A 218点 1B 212点 → <訂正後> 1A 238点 1B 212点

原因は、最終種目の選抜学級対応リレーの得点20点が加算されていなかったことによるものです。1年生及び保護者の皆様には、大変ご心配・ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。今後は、複数人で慎重に点検した後に得点を公表するなど、細心の注意を払うよう努めて参ります。

<田調中フェスティバルの中止について>

7月6日(土)に予定していた「田調中フェスティバル」について、PTA役員の皆様と開催について検討を重ねて参りましたが、本年度も「中止」とさせていただきます。コロナ禍でここ数年、開催を見送って参りましたが、準備や担い手の不足により従前通りの開催が難しいとの判断に至りました。何卒、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

< 3 学年修学旅行 >

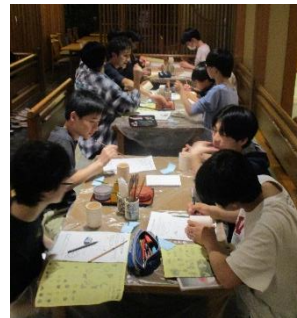
京都の旅館「八千代」の女将さんの涙に胸が熱くなりました。

先月5月19日(日)～21日(火)、2泊3日の京都・奈良への修学旅行に行ってきました。9:10 新横浜で新幹線(連合体輸送列車、いわゆる「団体専用列車」)に乗り込み、11:06 京都着です。初日は雨、バスで奈良公園や東大寺大仏殿、平等院を訪れました。バスガイドさんの話術がじつに軽妙で、楽しませてくれました。夜は、清水焼の絵付け体験です。2日目は晴天、南禅寺でクラス写真を撮った後、京都市内班別行動ですが、地図を頼りに電車やバスをつかって思い思いの見学先を巡ります。私は八坂神社→清水寺→祇園と歩きましたが、今年も京都の暑さと観光客の多さにはまいりました。全班、定刻までには宿に到着、見事です。夜は青蓮院へ行って、抹茶と和菓子をいただき、箏の生演奏に耳を傾けました。3日目も晴天、班ごとの半日タクシー行動です。運転手さんにガイドもしていただきながら、少し遠くの見学先へ行ったり、おみやげを買ったり、昼食をとったりした後、京都駅まで送ってくれます。そして帰路につきました

さて、3日間、お世話になった京都の旅館「八千代」は、シックな客室と美しい日本庭園が特徴的な、まさに京都の老舗旅館という佇まいでした。食事も美味しく大満足でした。そして迎えた3日目の朝、宿の女将さんからこどもたちへ、そして私たち教員に向けて、こんなメッセージがありました。

「今のご時世を踏まえ、本年度をもって修学旅行の受け入れを終了することになりました。長らく田園調布中学校の皆さんには、当旅館をつかっていただき、ありがとうございました。将来、またご縁がありましたら、当旅館においでください。」と涙ぐみながら、そして淋しそうに語られました。

田園調布中学校が長らく定宿にしてきた「八千代」の皆さんへ、これまでありがとうございました。



< 定期試験 2 週間前からの学習計画表の作成 >

5月の全校朝礼で、1学期の定期考査(6月25日～27日)に向けて計画的に学習に取り組むことの大切さについて、講話をしました。こどもたちは、毎日、学校の授業以外にも、部活動、習い事、お手伝い、そして趣味と、忙しい日々を送っています。本校では、試験1週間前には部活動を停止し(ただし、公式戦等を控えている場合は例外です。)学習への取り組みを促しています。

ただ、気持ちの切り替えというのは、なかなか難しいものです。そこで、助走期間を長めにとること、つまり定期考査2週間前からの学習計画表を作成・実践することで、徐々に学習へ向かう意識を高めていってほしいと思います。その際、目安として、授業以外の1日の平均学習時間(補習教室、学習塾、いわゆる「隙間時間」等々を利用した学習時間を加算しても構いません。)が「学年+1時間以上」(例えば、2年生は、2+1=3時間以上)となるよう設定できれば、量的には素晴らしいと思います。あとは、質が問われます。まずは、嫌々する学習ではなく、自ら進んで学習に取り組む姿勢が大切だと思います。

ぜひ、各ご家庭でも、こどもたちが主体的に頑張る姿をあたたかく見守っていただければ幸いです。